

1. 調査研究のテーマ、概要

調査研究のテーマ	自分も友だちも大切にする児童の育成 ～見つめよう自分を、つながり合おう友だちと～
----------	---

○調査研究のテーマを設定した目的

本校は、各学年10名前後の小規模校である。幼少期から共に過ごしていることから、日常的に学年を越えた自然なかかわりが多く見られる。そのよさをいっそう伸ばそうと計画的に位置付けている縦割り班活動でも、上級生の下級生への思いやりのある行為や上級生を慕う下級生の姿がたくさん見られている。また、日々の授業では「学び合い」の学習に力を入れ、互いに教え合ったり意見を交流したりする姿がある。さらに、年2回設けている「なかよし旬間」では、学級内だけでなく学年を越えて交流する中で、互いのよいところを伝え合う機会を設けている。また、同和問題については、学年に応じた豊富な資料を活用したりすることで、継続的に学んでいるため、子どもたちが差別について真剣に考える姿が見られている。

しかしその一方で、限られた人数での生活で、人間関係が固定化されがちなところがあり、自分に自信を持てず周りに合わせようとしたり、相手を固定的なイメージで見えて厳しい言葉をかけてしまったりと、互いを尊重し共によりよく行動しようとする態度に課題を感じている。

そこで、日頃の授業や生活の中で幅広い人権課題に触れ、それらと向き合うことを通し、自己を見つめ、自分のよさに気付き高めようとしたり、友だちの気持ちを考え自分の行為を見直したりし、自分も友だちも大切にする態度をさらに高めてほしい、また、共につながり合い支え合うよさをいっそう感じてほしいと願い、本テーマを設定した。

○調査研究の概要

これまで大事に受け継がれてきている地域教材や地域の方からのお話をもとにした同和問題の学習のあり方を見直すとともに、「いじめ」をなくす学習（インターネットによるものを含む）、障害のある方との交流を通して、自己を見つめ、相手の気持ちを考え、共によりよく生活するために自分ができることは何かを考え合える実践につなげる。その際、職員研修を行うとともに、家庭・地域との連携についても工夫を図っていく。

2. 基本情報

研究指定校の概要

○学校名

中野市立日野小学校

○これまでの研究指定等の状況

なし

○学級数

8 学級（うち特別支援学級 2 学級）

○児童生徒数（R. 6. 2. 1）

全児童数：65 名

○URL

<https://www.city.nakano.nagano.jp/docs/2022080100065/>

○指定理由

令和2年度、長野県教育委員会が県内の小・中・高等学校等を対象にして行った「学校人権教育実施状況調査」では、「同和教育の実践に対して不安を感じている30歳未満の教員がいる」と答えた学校が8割に上った。そして、「部落差別についての知識が少ない」「同和教育を扱った授業経験がない」と答える30歳未満の教員が過半数を超えるなど、若い教員を中心に、同和問題への取組に大きな課題があることが明らかになった。よって、県教育委員会としては、そのような若い教員に向け、各学校でどのような支援を行っているかの具体例を、研修や広報誌等で積極的に紹介し、令和5年度は「同和問題ミニ講座」をオンライン講座として開設し、同和問題について正しい知識をもつとともに、実践事例について紹介したり、教員同士が情報交換をしたりする場を設けていくことを考えているところである。

今回指定した日野小学校がある中野市は、「同和問題」について小中学校が連携したカリキュラムを擁し、貴重な実践の積み上げを有している地域である。また、人権教育副読本として長野県内で主に活用されている「あけぼの」（長野県同和教育推進協議会出版）や、人権広報誌等で扱われている「草つき穴」をはじめとした、豊富な地域教材を有しており、部落解放連盟の方々など地域で「同和問題」に立ち向かっている方々とのつながりも強い。

よって、本年度日野小学校を指定することで、同和問題を中心とした人権課題への取組を通し、差別を許さない意識を高めていくとともに、豊かに力強く生きた被差別部落の人々の姿にも触れていくことを期待している。また、多様な生き方や考え方に触れることにより、自分も友だちも大事にできる児童への変容を追うことで、様々な人権課題

についての指導方法を見出していくことができると考える。

そして、このような「同和問題」への取組を中心とした日野小学校の実践は、若い教員だけでなく、人権教育に取り組む多くの教員にとって、指導方法等の改善・充実に寄与することが期待でき、この成果を県内の学校に発信することで取組の広がりも期待できる。

○取り組んだ人権課題について

該当するものに○印、最も主要な人権課題 1 つに◎印を付与

①子供	○
②女性	
③高齢者	
④障害者	○
⑤ <u>同和問題</u>	◎
⑥ <u>アイヌの人々</u>	
⑦ <u>外国人</u>	
⑧- 1 HIV 感染者等	
⑧- 2 <u>ハンセン病患者等</u>	
⑨刑を終えて出所した人	
⑩犯罪被害者等	
⑪インターネットによる人権侵害	○
⑫北朝鮮当局による拉致問題等	
⑬性的指向、性自認	
⑭その他 ()	

3. 調査研究の内容等

○調査研究の内容

『学び合い』の中で、地域教材、地域人材に出あったり、多様な考え方や生き方に触れたりすることを重ねていったりすることにより、自己を見つめ、他者の考えも尊重できる児童の育成につながっていくのではないかと、この仮説に基づき、以下の実践を行っていく。

①人権課題「子供」について

○各学年、年間指導計画に基づき、次の力を育む

- ・自分や他者の生命や人権を尊重し、互いのよさに気づき、認め合う。
- ・いじめに関する資料等から、いじめられる側の苦しさの思いを寄せ、傍観者でいてはいけないことを確認し、いじめは許さないという強い気持ちをもつ。
- ・いじめなどの身近な差別や偏見に気づき、解決しようと自分にできることを考え取り組む。

○「学び合い」の学習、学年を越えた異学年交流活動（縦割り班活動、連学年・姉妹学級交流、児童会活動等）を位置づける。

- ・自分の考えや思いを他者へ伝えること、他者の考えを受け止めること、相互理解を深めること、互いに納得のいく考えを生み出すことなどに意識して取り組む。
- ・そのような過程の中で、コミュニケーション力や人間関係調整力を培っていく。

②人権課題「障害者」について

○障害のある方のお話やパラスポーツ体験、福祉体験等を通して、障害のある方の立場に立って考える態度を養う。

- ・目に見える障害、目に見えない障害など様々な障害があること知り、それぞれの立場から見えること、感じることを知る。
- ・多様性を受け入れ合い、共に生きていこうとする意欲を高める。

③人権課題「同和問題」について

○地域教材、地域人材に学ぶ機会を多く設ける

- ・地域素材・地域教材である「草つき穴」について、地域の方のお話をお聞きするだけでなく、主体的に学ぶ機会を設ける。
- ・同和問題に見識の高い地域の方からのお話を聞く機会により、同和問題について正しく知るとともに、地域の方の思いを知り、差別や偏見をなくしていこうとする意欲を高める。
- ・これまで大事に受け継がれてきた資料、人権かるたを積極的に活用していくとともに、活用方法について見直し、検討する。

○職員同士の学びを促進する

- ・授業を行うにあたり職員研修を実施し、職員同士の学びを促進する。

- ・中学校区内の学校と指導計画や実践の様子について共有したり実際に授業参観をしたりし、同和学習のあり方について研修を深める。

④人権課題「インターネットによる人権侵害」について

○SNS の利用について考える機会を設ける

- ・授業を通し、SNS には危険性も潜んでおり、安易な使い方をすると他者に悲しい思いをさせてしまったり自分が悲しい思いをしたりする危険があることを考える。
- ・保護者も交えた講演会にて、利用の仕方についての啓発を行う。

⑤上記の①～④について、以下の点を行いながら取り組む。

○一人一台端末の積極的な活用を行う。

- ・授業において互いの考えや思いの共有・交流を図るため、また記録の積み上げのために、一人一台端末を活用し、一人一人の学びを尊重した個に応じた支援を促進していく。

○家庭・地域への積極的な発信を行う。

- ・授業参観、学年保護者懇談会、講演会、PTA 活動、学校だより・学年だよりなどを通して、家庭にも学習内容を伝え、連携して取り組む。また、地域へも知らせていく。

⑥県教育委員会の市教育委員会・指定校への関わり

○県教育委員会は事業全般等について指導、助言を行う。

○他団体との連携を図り、講師や協力者等の紹介を行う。

○人権教育研修会や教育委員会ホームページ等をとおり、研究実践について県下に紹介する。

○実施方法

①校内で人権教育プロジェクトチームを立ち上げ、人権教育の観点から目指す児童像を検討し、人権教育全体計画、年間指導計画の見直しを学年等で行うとともに、職員研修、授業研究会を年間行事計画に位置付ける。

②児童会活動や縦割り班活動の内容を人権教育の視点からも再検討し、充実を図る。

③地域とのつながりから、コミュニティスクール運営委員会に本事業について説明し、さらなる協力依頼する。特に、児童が地域で活躍できる場についてアドバイスをいただく。

④県教育委員会が実施している「人権教育講師派遣事業」を活用し、人権課題について自分事として考える場面を充実させる。

⑤「同和問題」「インターネットにかかわる問題」「障害者」については、外部講師を招いて職員研修を行い、アドバイスをもらいながら、児童の発達段階や実態に合わせた教材の研究を進める。

⑥講演会、授業参観などは近隣の学校に参加を呼び掛けたり、解放同盟等の関係団体にも参観を呼び掛けたりしていく。

4. 検証・評価・改善・普及

①日々の授業での振り返りや、体験学習等での振り返りの記述の積み上げから、児童の変容を分析する。また、授業者や体験学習等で関わりのあった方からの意見を取り入れ、次への改善点を見つけ出す。

⇒日々の授業を振り返る中で、発達段階に合わせ視覚的に事象をとらえられるように教材を準備したり、一人一人が意見を言いやすいよう少人数グループでの話し合いを取り入れたりした。また、地域教材を扱う前に職員自らが研修する機会を設け、教材に対する共通理解を図った。

②児童、保護者の方からの学校評価アンケートの結果から、児童の変容を分析する。また、コミュニティスクール運営委員会にてアンケートの結果について検討し、成果と課題を明らかにし、成果と課題をまとめ、今後の学習の方向性について検討、共有する。

⇒学校評価アンケートの結果を分析し、職員全体で共有した。また、コミュニティスクール運営委員会で報告したり、保護者への公表を行ったりした。アンケートでは、学校が楽しいと回答する児童が9割を占め、高い割合を示していた。

③全国学力・学習状況調査の生徒質問紙の結果から、児童の変容を分析し、目指す児童の姿の見直しに生かす。

⇒児童の変容について分析し、成果と課題を共有して、支援や目指す児童の見直しに生かしてきた。

④Q-U等の調査結果を分析し、児童一人一人への指導、学級集団全体指導へ生かす。

⇒担任による分析と各学級の傾向を職員で共有し、来年度への改善点を明らかにしていく。大きな変化のある児童についてその背景にあるものを丁寧に分析し児童理解を深めた。

⑤人権教育授業公開での授業指導者、参加者からの意見をまとめ、授業考察に生かす。

⇒参加者からの感想や意見をもとに、各学級の人権教育への課題を明確にしながら授業の考察に生かしてきた。

⑥学校の実践は、学校だより等で積極的に外部へ発信していく。

⇒実践について学校だよりで発信するとともに、中学校ブロックの人権教育小委員会で報告し、各学校で情報共有するようお願いした。

⑦県教育委員会からの指導、助言を活かし、次年度に生かす。

⇒今後も地域教材を大切にし、活用していくようにご指導をいただいた。今年度の成果と課題をもとに、次年度の計画を作成していく。

5. 人権教育に係る年間指導計画

令和5年度 人権教育年間指導計画 日野小学校

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
学校行事		・入学式 ・始業式 ・健康診断	・1年生を迎える会	・校内運動会 ・なかよし旬間	・終業式	・始業式	・土曜参観日	・給食週間 ・校内音楽会	・なかよし旬間 ・読書旬間	・終業式	・始業式 ・スキーそり教室	・学習発表会	・6年生を送る会 ・終業式 ・卒業式
道徳	1年	がっこうだいすき	きもちのよいせいかつ あかるいあいさつ なかよくねよいこととわるいこと	みんなじょうず みんないきてる かぼちゃのつる どうしてこうなるのかな	きんのおのかぞくとおはなし	あさがお	いきているって とりかえっこ あしたはえんそく	やめなさいよ 二わのことり ありがとうがいっぱい おふろそうじ	ジャングルジム くりのみ ひしゃくぼし わすれていることないかい	はしのうえのおおかみ きゅうしよくとうばん これならできる	にほんのあそび せかいのこどもたち ちいさなふん	やればできるんだ 「すき」からうまれた「そらまめくん」 みんながつかうばしょだから	なわとびカード みんなみんな、ありがとう
	他教科との関わり	生みんなともだち 国鬼遊び (ルールを守ってなかよく遊ぼう)	国・生みんなであいさつ 国学校探検 国学校のみんなとなかよくしよう (だれとでも明るくあいさつしよう)	国・生みんなは、ひらいた (友だちと一緒に歌って表現しよう) 国音楽会に向けて (心を合わせて歌おう、演奏しよう)	国・生みんなにはなそう・てがみをかこう(自分のことを話そう、聞こう) 国なかよしかるた (なかよしかるたを知ろう)	国・学夏休み のことを話したり、なかよしゲームをしたりしよう (自分や友だちのことをよく知ろう)	国大きなかぶ (みんなで力を合わせたときの一りー人の気持ちを考えよう) 国運動会 (力を合わせて競技しよう。自分の力を出し切ろう)	国くじらぐ (大きな声で読んで、くじらぐにも言いたいことを考えよう)	国ずうと、ずっと、大ききだよ (主人公の気持ちを考えて読もう) 国さつまいもの収穫祭をしよう(姉妹学級で交流しよう) 国なかよしカルタ (なかよしかるたの言葉を覚えよう)	国ななかよし 標語 (学習して感じたことをまとめよう) 国なかよしポスター (仲良しの絵を描こう)	国わたしがうまれてから 国どうぶつ (友だちとの違い、どうぶつとの違いを考えよう)	国いいこといっぱい1年生 国1年間をふりかえろう 国ぼくとわたしの1年間 (1年間の自分の成長をふりかえろう)	国ためぎの糸車 (感想を発表しよう)
道徳		2年生になって あいさつ月間 どうしてきまりがあるのか	しょうかいします 角がついたかいじゅう ぶらんこ	おり紙の名人 ありがたの手紙 ばくのサッカーシューズ	がんばれアヌーラ かえてきたホテル クラスのだい	およげないりすさん	なかよしだね お月さまとコロ 黄色いベンチ	黒ばんがこりこりするかな どうしてうま どうしての かな	こんなときどうするかな 雨ふり どうしよう きらきら	生まれるということ ひかりか もうすぐお正	お年玉をもらったけれど おせちのみみ 日本のお米	空色の自転車 すてきなえが お ありがたの絵	よかったよ こうさとびができた

2 年	他 教 科 と の 関 わ り	国ふきのと う (役を決めて 大きな声で読 もう) 国たん生日 しろべ (友だちのた ん生日を知ろ う)	国鉄棒 (根気強く取 り組もう)	国スイミー (仲間と協力 することのす ばらしさを読 みとろう)	国水泳 (自分のめあ てに向かって 泳ぎ、友だち の泳ぎを応援 しよう)	国水泳参観 (自分のめあ てに向かって 泳ごう)	国お手紙 (相手の立場 に立って行動 することのす ばらしさを読 みとろう)	国音楽会 (心を一つに 合わせて演奏 しよう) 国遠 足に行こう (1年生をリ ードして遠足 を楽しもう)	国かけ算 (友だちと励 まし合って九 九を覚えよ う) 国なかよし カルタ (なかよしカ ルタを覚えて 楽しもう)	国お祝い会 (2学期それ ぞれ頑張った ことを確認 し、みんな 喜びあおう)	国大きな ったぼくた し (自他の成長 を学び、命の 大切さ、周り の人への感謝 の気持ちを表 そう)	国くわしく 思い出して書 こう (1年を振り 返って成長し たところを見 つめよう)	国スーホの 白い馬 (相手を思う 気持ちの強さ のすばらしさ を読みとろ う)
	道 徳 3 年	よろしくギフ ト あいさつ名人 やめられない	たった一言 道夫とぼく よごれた絵	友だち屋 日曜日の公園 で 持っ て あげ る? 食べてあ げる? マリーゴールド	生きている仲 間 ヤゴきゅうし ゅつ大作戦	係の仕事を取 り組むときに	きまりのない 国 黄金の魚 大切なものは 何ですか	水やり係 目の前は青空 百六さい、お めでとう、ひ いばあちゃん	とくジーのお まじない かるた遊び なあとからの しつもん 三年元気組	まわりを見つ めて ふるしき マサラップ	「わたしらし さ」をのぼす ために 長なわ大会の 新記録 学校のぶどう	よわむし太郎 漢字に思いを こめて ありがとうの 気持ちをこめ て	ヌチヌグスー ジー命の祭り スーパーパー イシエ物語
他 教 科 と の 関 わ り	国学校の周 り (自分達の住 んでいる地域 を知ることか ら、大切にす る気持ちを育 てよう)	国運動会 (力を合わせ て練習をし て、運動会を 成功させよ う)	国はたらく 人とわたした ちのくらし (いろいろな 人のおかげで 暮らしている ことを知り感 謝しよう)	国水泳 (友達と教え あって、自分 の目あてに向 かって泳ご う)	国昆虫の身体 を調べよう (生き物の命 について考え 合おう) 国わたしとこ とりとずと (みんな違っ てみんないい ことについて 考え合おう)	国花がさい た後の植物を 調べよう (植物の命に ついて考え合 おう)	国ちいちゃ んのかげおく り (人の命の 重さについて 考え合おう) 国音楽会 (心を一つに 合わせて演奏 しよう)	国なかよし カルタ (なかよしカ ルタの標語を 作ろう)	国三年と う げ (朝鮮半島の 農村の雰囲気 を感じよう)	国つたわる 言葉であらわ そう (相手につた わる文章を書 こう) 国古い道具 と昔の暮らし (みんなで協 力して調べよ う)	国これがわ たしのお気に 入り (しょうかい して、感想を 伝え合おう)	国モチモチ の木 (思いやりの ある行為につ いて考え合 おう)	

(わ)：わたしたちの道

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
学校行事	・入学式 ・始業式 ・健康診断	・1年生を迎える会	・校内運動会 ・なかよし旬間	・高原学習 ・終業式	・始業式	・土曜参観日 ・修学旅行	・給食週間 ・校内音楽会	・なかよし旬間 ・読書旬間	・終業式	・始業式 ・スキーそり教室	・学習発表会	・6年生を送る会 ・終業式 ・卒業式
道徳	世界に一つだけの花 土曜日の学校 「思いやり」って	絵はがきと切手 言わなげや 目覚まし時計	生きているしるし ひとりぼっちのYちゃん 学級会での出来事 みんな、待っているよ	いのちをつなぐ岬 このままにしていたら		わたしたちの校歌 「正直」五十円分 泣いた赤おに スーパーモンスターカード	つまらなかった ぼくたちのパラビじん 生き物と機械 弟のふろ入れ	ちょっと待ってよ 思いやりのかたち 雨のバスでいりゅう所で 祭りだいこ	琵琶湖のごみ拾い わたしの大切なもの より遠くへ	花さき山 梨の実 みんながって、みんないい	「まあ、いいかい」 おじいちゃんのごらく くごらくく ブラッドレーの請求書	神戸の復興は僕らの手で 朝めくると
4年	他教科との関わり	他教科 (チーム内で協力したり、応援したりして、競争する楽しさを味わおう)	組ごみの処理と利用 (地域のごみ処理のために働いてくれている人の苦労や想いを考えよう)	体運動会に向けて (協力し励まし合って運動会を成功させよう)	学1学期を振り返って (1学期のがんばりを互いに認め合おう)	体水泳参観 (自分の記録に挑戦し、互いのがんばりを認め合おう)	音音楽会に向けて (みんなで心をひとつにして練習に取り組もう)	総草つき体験 (草つき体験をし、草つき穴にまつわるお話を地域の方から教わろう) 草つき穴の見学。	学2学期を振り返って (2学期のがんばりを互いに認め合おう)	総学習発表会に向けて (みんなが活躍できる学習発表会にしよう)	保育ちゆく体と私 (二次性徴について学び、男女とも互いを大切にしよう)	総1年間を振り返って (1年間の歩みを振り返り、自分たちの成長を確かめよう)
道徳	夢を実現するためには 流行おくれ あいさつって	友のしょうぞう画 わたしは飼育委員 公園のきまりを作ろう	すれちがひ どうすればいいのだろう 道案内 命の詩	一ふみ十年 宇宙から見たもの		自分の身は自分で守る ケンタの役割 ドッジボール対決 「同じでちがう」	誰もが幸せになれる社会を ブランコ乗りとピエロ 水がわたる橋 いこいの広場	クール・ボランティア 曲げわっぱから伝わるもの 真の看護を求めて 「自分らしさ」を見つめよう	祖母のりんご 小さな国際親善大使	おおきに、ありがとう お客さま うばわれた自由 マークが伝えるもの	千羽づる 最後のコンサート おばあちゃんからもらった命	世界最強の車いすテニスプレーヤー アンパンマンがくれたもの
5年												

他教科との関わり	国・算・理・社 グループでの相談タイム(通年) 国体ほぐしの運動 (心を合わせて達成しよう人間いす) 国心の色 (友だちの表現のよさを味わおう) 外ALTの先生を知ろう	体リレー (チーム内で協力し合ったり、応援したりして競争する楽しさを味わおう) 外英語で自己紹介をしよう①	体運動会 (お互いのがんばりを認め合い、互いに協力し支え合いを大事にして取り組もう)	国高原学習新聞づくり (友だちの表現のよさから学ぼう)	理生命の誕生 (人の命のかけがえのなさに共感しよう)	社これから の工業と環境 (人命の尊さを理解し、自分の行為が他に影響を及ぼしていることに気づこう)	音音楽会 に向けて (みんな で心をひ とつにし て練習し よう)	図なかよし お祭り (差別する 心をなく すという 気持ちを 込めて描 こう) 総草つき 穴のお話 を学ぼう (あきさ んの立場 について 考えよう)	保心の 変化 (お互い の違いを 認め合い 協力して いこう) 国やなせ たかし ～アンパ ンマンの 勇気～ (本当の 正義とは 何か、作 者の思い を知り、 考えよう)	社情報と 私たち (インタ ーネット の怖さを 知ろう) 総学習発表 会に向けて (みんなが 活躍でき る学習表 示会にし よう)	保心の成長 と変化 (私たちの 心の成長 と変化を 知ろう) 総6年生を送 る会の準備 をしよう (8年生へ の感謝の 気持ちを こめて準 備しよう)	社環境を守 る私たち (地球的な 視野をも って緑の 保全や生 活者とし ての自分 を見つめ よう) 国大造じい さんとガ ン(残雪に 心を寄せ る大造じ いさんの 気持ちを 読み取ろ う)
道徳	まどさんからの手紙 ぬくもり 自分を信じて	なれなかったり レーの選手 礼儀正しいふ るまい 子ども会のキ ャンプ	泣き虫 この胸の痛 みを ロレンゾの 友達 今度は、ぼく の番	海のゆりか ご 命の旅		世界人権宣言 から学ぼう 気に入らな かった写真 手品師 みんな、おか しいよ!	コスモスの 花 六年生の責 任って? ぼくの名前 呼んで ここを走れ ば	最後のおく り物 ようこそ、菅 島へ! 「働く」って、 どうい うこと? マザー＝テ レサ	三十八億年 の命 「クメール の復興を目 ざして	五十五年目 の恩返し おじいちゃん との約束 エルトゥー ルル号	私には夢が ある 日本植物分 類学の父 スイッチ 小川隆船	「ありがとう」の 気持ちを伝える 一さいから百さ いの夢
他教科との関わり	国つないでつ ないでお話 (友だちと話 を続ける楽し さを味わお う) 外Welcome to Japan(A LTに日本の よさを紹介し よう)	体陸上、リ レー(チーム で作戦をた て、協力し たり、競走 したりする 楽しさを味 わおう) 国人と他の 動物の体(人	体運動会へ 向けて(最 後の運動会 を成功させ るために、 種目や係で 互いに努力 をしよう) 保男女の協 力(男女の	社今に伝わ る室町文化 (差別され た人々がす ぐれた技術 をもち、日 本の文化に 貢献してい たことを知 ろう)		国ようこそ 私たちの町 へ(故郷の よさを知ろ う)	音音楽会へ 向けて(最 後の音楽会 を成功させ るために互 いにできる 努力をしよ う) 社徳川幕府 と江戸時代	図町人文化と 新しい俳句(差 別された人々 が働いた技術 をもち、日本 の国の発展に 尽くしたこと を知ろう) 明治の国づく りを進めた	社新しい日 本、平和な 日本へ(民 主主義の大 切さを知ろ う) 保大切な命 (命の大切さ を知り、身 体や命を大 切にしよう)	社わたした ちの生活と 政治(基本 的人権の尊 重、平和主 義、主権在 民の大切さ を知ろう) 総学習発表 会に向けて	社世界の中 の日本(世 界の中の日 本について 知ろう) 国人と環境 (人間が環 境を大切に しなければ ならないこ	国卒業する みなさんへ (多くの皆さ んから期待 されたり応 援されたり しているこ とを知ろう) 外Junior High School
	よう)	体や他の動 物の体の仕 組みを知ろ う) 外This is Me!(英語で 自分のよい ところを紹 介しよう)	違いを知 り、協力す る必要を理 解しよう)	体水泳(6 年間の水泳 のタイムや 距離の伸び から自分の 成長に気づ こう)			(差別され た人々が法 制度のもと でも差別さ れたこと や、その差 別と闘った ことを知ろ う)	人々(海には 平等になっ たが、差別が 残ったこと を知ろう) 総日野地舞 台について学 ぼう(差別に 立ち向か おう)	切にしよう)	(みんなが活 躍できる学 習発表会に しよう)	とを知ろ う) 保病気に ついて(病 気の原因に ついて知ろ う)	Life(中学校 生活に対す る希望をも って卒業し よう)

6. 推進体制（都道府県・指定都市教育委員会を含む）

